

吉岡屋 YOSHIOKAYA ビジネス ネットワーク

飲食業で使える 助成金とは？

「(株)財務コンサルティング
& サービス」

芳賀 浩之
仙台市青葉区一番町 1-15-33
TEL022-265-3686 FAX022-265-3687
h-haga@zaicom.co.jp http://www.zaicom.co.jp

最近、やたらと起業・創業ブーム。
資本金も規制緩和の流れから1円でもよくなり、
それで会社ができちゃう時代になっている。
でも、どうしても頭が痛いのが創業にかかわる資金。
この創業資金を考えたときには是非とも利用したいのが
国の助成金だ。
ただ、この助成金という制度、なかなか身近ではないせいか
利用しようにもわからないことが多い。
そこで今回は助成金に詳しい
仙台の(株)財務コンサルティングアンドサービスの
芳賀浩之氏にそのポイントをご説明いただく。
これから飲食業を開業しようという人や会社を創業しよう
という人に是非とも利用してもらいたい。



昨年開店した国分町の飲食店で
500万円の助成金をもらったとか？

ええ、昨年10月にオープンした飲食店、といっ
てもオールティーズのライブハウスですが、そのお店
で500万円もらうことになります。

このお店はもともと団塊の世代である50歳代の人
がお一人で始めたのですが、そこへ同じ団塊の世代で
ある50歳代の友人2人が加わり、3人で新たに始め
たお店なんです。

加わったお二人とも大手ホテルや大手電気会社を退
職前に見切りをつけ、好きなことを仕事にしていきたい
とライブハウス業へ飛び込んだ訳です。

この助成金（高齢者等共同就業機会創出助成金）
は開店から6か月に要した費用の3分の2、最高
500万円が助成されるというものでしたから、当然

開店のときには相当な資金が必要となり、その補填と
して500万円が戻ってくる訳ですから大きいと思っ
ます。

どうして飲食業で
助成金がもらったのですか？

飲食業だからもらったという訳ではないんです。世
の中には、まだまだ失業者が多くいます。特に45歳
以上の中高年齢者ともなれば再就職の道は大変厳しく
なっています。それならばということで国では雇用対
策の一環として自らの経験や技能で創業した者に対し
て助成する動きが顕著になっているのです。支援して
くれる、そういった国の制度があるのです。

前述の飲食店さんもその制度を利用したことに他な
りません。

品質のニッカ
NIKKA WHISKY



竹鶴17年ピュアマロト

竹鶴21年ピュアマロト

ウイスキー 飲酒は20歳になってから。ほどよく、楽しく、いいお酒。

販売者：アサヒビール株式会社
製造者：ニッカウヰスキー株式会社

創業したからといって
もらえる訳ではないんですよ?

そうなんです。そこが難点です。国では支援しますよ、となっても助成金等は予算の中での話ですから、いかんせん創業した全ての方が該当することには無理があるわけです。そこで以下のような一定の条件を満たした場合にのみ与えるということになるわけです。

それは「**会社組織で45歳以上の3人で始めること**」。幸いにも、このライブハウスの飲食店さんの場合、最初から上記の条件は満たされていました。無理くり条件に合わせたというわけではなかったんです。

今後このライブハウスさんのようにリストラ等で退職し、好きな飲食業を始める中高年層者の人たちにとっては、意外と条件は一致するケースが多いかもしれませんね。

どんな経費にいくら助成金ももらえたか!

法人設立から6ヶ月間(事例A社)

(単位/万円)

経費項目	経費金額	助成金額
会社創ったときに司法書士へ支払った報酬	15	10
会社ソフトを会社で買った研修費用	24	29
店舗改装費用	440	293
店舗改装費用(残金リース代)	70	47
伝票などの事務用品	40	27
宅配便等の荷造り運賃代	10	7
電話代や切手等の通信費	32	21
ホームページ作成等広告・NTT電話料などの広告宣伝費	83	55
インク代や紙面などの消耗品費	9	6
セミナー参加の舟の船料往復切符代や高速代	7	5
合計	750	500

店舗改装440万円を含め
総額750万円の経費に対して**500万円**の助成!!

ポイントなんですか?

ええ、そうなんです。ライブハウスさんが利用したこの制度の場合、創業というのは会社を設立することだったんです。

会社組織が条件となれば、現在、個人事業で飲食業を営業している人で今後改装などで設備投資を考えている人には、朗報かもしれませんね。

おもしろいのは会社組織にすれば、例えば改装費で750万円かかっても500万円が助成金で戻ってくるんですから大きいですね。

この制度以外にもライブハウスさんのように3人でなくて、一人で創業した場合、実は別な種類の助成金が使えますよ。

え、ということは飲食店が使える
助成金でも色々あるんですね?

ええ、そうなんです。だからといって何種類もある訳ではないんです。助成金の種類は多いのですが意外と使えないものの方が多いくらいです。でも実際にお一人で始めて、もらった別なケースを説明します。

こんなケースで使えます

現在3人と兼業主業で営業している、3人と45歳以上でならぬ。

経営形態:個人事業

3人で法人設立

別業経営3人で
ラーメン業を経営。
経営形態:法人組織

個人事業から法人組織へ変更するだけで、従来のラーメン屋のスタイルも何も変更することなく、法人設立日から半年間のかかった経費(水通光熱費や家賃、広告宣伝費等)の3分の2が助成されます。
また、法人設立後に新たに購入した設備費や設備・修繕も対象となります。

できなかった。会社ではなく個人事業スタイルでした。オーナーはそれまでの30年近い会社勤めを辞め、かねてから夢だった飲食業を始めた方です。退職金をはたいて開店資金に用立てたのですが、200万の助成金は運転資金的にみると大変助かったと言っていました。

この制度(受給資格者創業支援助成金)は退職前に雇用保険に加入していた人にチャンスがありますから、大手の飲食業で“のれん分け”的に独立し、お店を始める若い人には、もってこいの制度かもしれませんね。

こちらは、開店から3ヶ月に費した費用の3分の1、最高200万円が助成されるというもの。

それと、なんといっても助成金は銀行の融資と違って返還する必要の無いものですから、その点でも資金的には大助かりではないでしょうか。

助成金は返還しなくていいんですか?

ええ、条件さえ一致すれば基本的にどの人でも、どの飲食店でももらえることになり、返還はしません(一部風俗関係のお店は除く)。でも、だからといって安易な考え方や申請は禁物です。手順をきちんと踏まなければなりませんし、それなりに準備が必要になります。不備があれば当然返還しなければなりません。

最後に、オーナーさんにとって創業時にあれこれと他にすることが多い中で助成金のことまで一緒にやっていたのでは多忙さわりないと思います。

是非、創業前に一度気軽にご相談いただければと思います。



本格そば焼酎【日向灘黒潮酵母・黒麹仕込み】

吉兆雲海

お酒は20歳になってから。

きっちょうんかい

伝統の「黒麹仕込み」の技と「日向灘黒潮酵母」が出会って生まれた、
今までにない深いコクと、浪漫に染みわたる味わい。

雲海酒造株式会社
www.ukai.co.jp

専任文様「吉兆雲海」